

2章. 検討フロー

1. 液状化発生面積率からみた地形要素の抽出

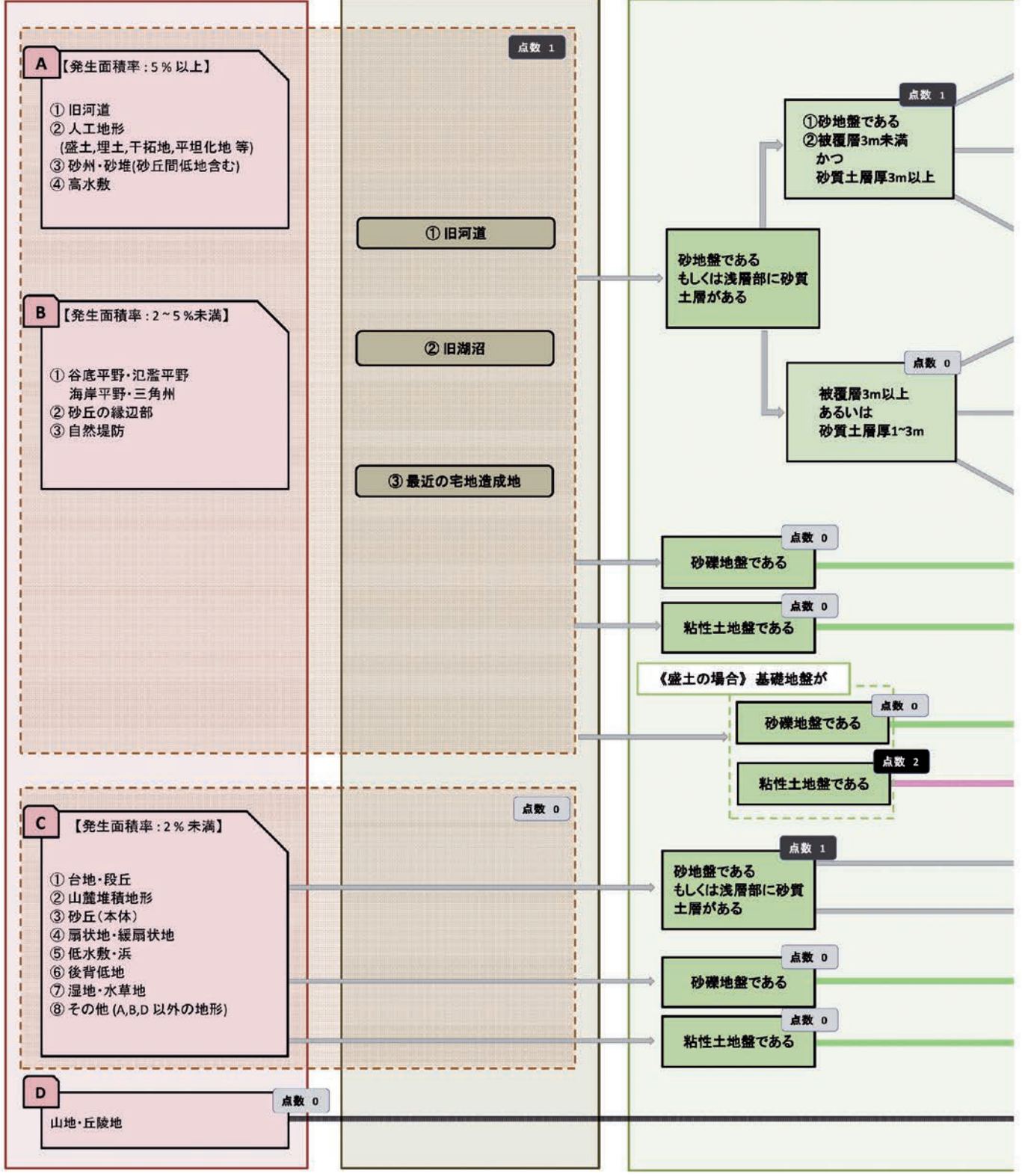
資料 土地条件図 1/2.5万
地形分類図 1/5万,1/20万
液状化履歴マップ
新潟地震地盤災害図

2. 古地図・空中写真・治水地形分類図による補完

資料 古地図(M44,M23)
空中写真(米軍,国土交通省撮影)
治水地形分類図

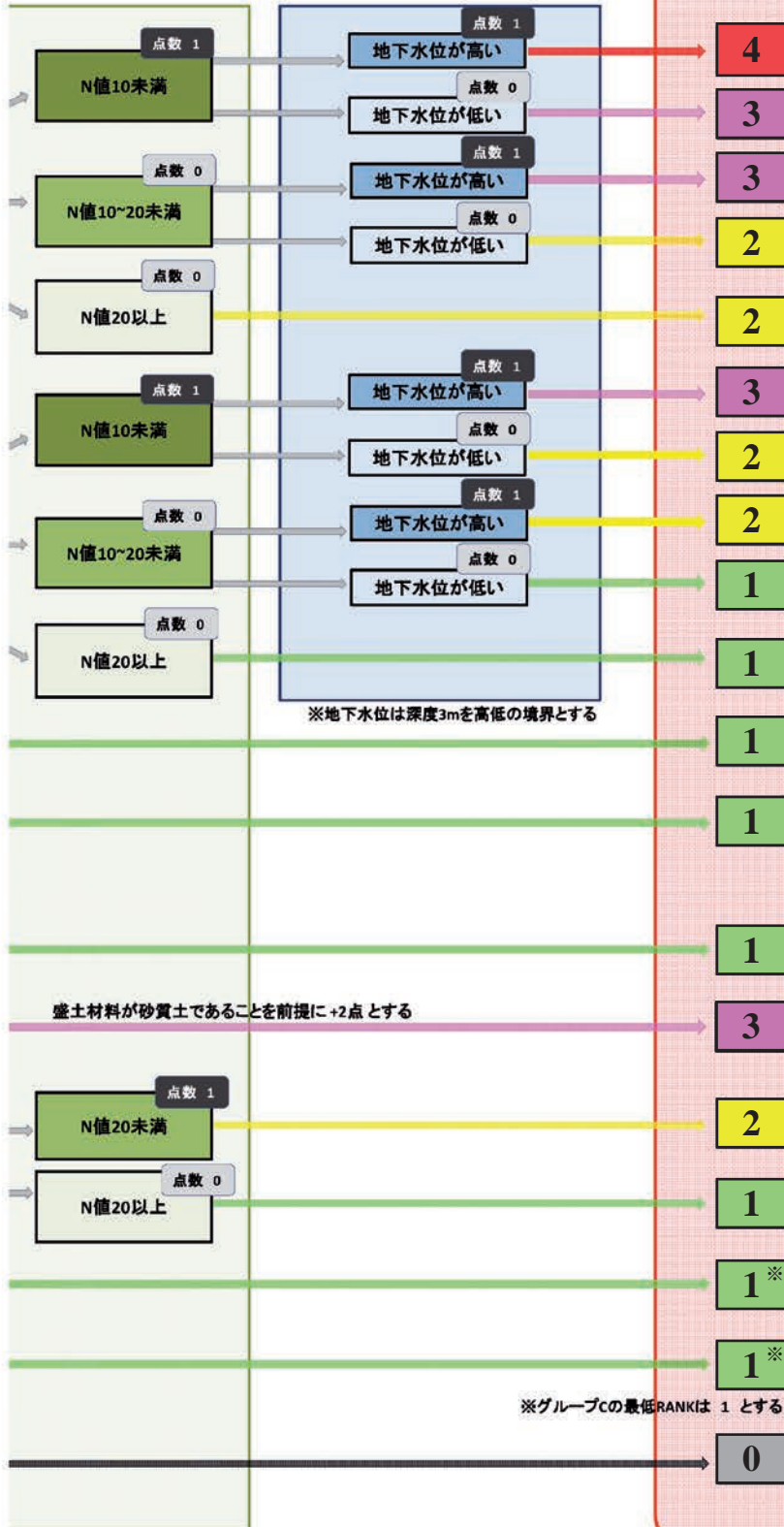
3. 地盤構成の検討

資料 ほくりく地盤情報システム
新潟県地盤図
直轄河川縦断面図



4. 地下水位のチェック

資料 ほくろく地盤情報システム
新潟県地盤図
直轄河川縦断面



判定

「液状化3条件」
① 砂地盤であること
② N値が低くルーズであること
(締まりの程度が緩い)
③ 地下水位に満たされていること

液状化危険度 4

液状化の可能性が高い

「液状化3条件」を満たす、可能性の高い範囲

液状化危険度 3

液状化の可能性がある

非常に強い地震に見舞われたり、地震時に地下水位が一時的に上昇していた場合のように、条件次第では「液状化3条件」を満たすと考えられる範囲

液状化危険度 2

液状化の可能性が低い

全体に液状化の可能性は低いと考えられるが、部分的に「液状化3条件」を満たす地点を含む可能性のある範囲

液状化危険度 1

液状化の可能性が非常に低い

通常では液状化の可能性はほとんどないと考えられる範囲

液状化危険度 0

液状化判定の対象外

山地や丘陵など、液状化するとは考えられない範囲